



2021年6月25日  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

## 運用型テレビ広告サービス“TV AaaS”をアップデートして提供開始

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂DYメディアパートナーズ）は、広告メディアビジネスのデジタルトランスフォーメーションを果たす次世代型モデル「AaaS」（※1）を提唱し、広告主の広告効果最適化を通して事業成長に貢献するソリューション群を提供しています。

# AaaS<sup>TM</sup> TV AaaS<sup>TM</sup>

Advertising as a Service

“TV AaaS”は、テレビ広告領域において従来の視聴率のみではなく、生活者DMPによるターゲット指標やリーチ、CPAなどの広告主のKPIに対する効果を最大化するための、プランニング・バイイング・モニタリングを実現するソリューションです。

従来、テレビスポットビジネスの課題としてプランニング、バイイング、モニタリングの各フェイズでの“分断”がありました。今回TV AaaSをアップデートする事により、その“分断”をなくし、PDCAをスピーディーに一気通貫で回す、運用型テレビソリューションとしての機能を実現しました。

### （主な機能）

- ① 広告主にダッシュボードを提供し、様々なスポット広告効果を可視化することで、広告効果の最大化に必要なアクションに繋げていくことができます。
- ② 希望される広告主と適用可能な放送局の広告枠の再配分を行い、各広告主それぞれのKPIにもとづき、個別のスポット案の効率向上を、必要条件を守りながら実現します。

TV AaaSは、従来ではできなかったテレビスポット広告枠単位での詳細な効果・効率の把握と最適化をAIやオリジナルアルゴリズムによって算出される“視聴率等の予測”、“広告主ごとの指標の最大化と複雑な制約条件を考慮した枠の最適化シミュレーション”によって実現します。また、広告効果を可視化するダッシュボードを広告主に提供し、日々進捗を確認しながら、効果最大化を図っていく体制も整えました。これによりキャンペーン途上でも常に広告主のKPI（視聴率やリーチ、検索数やCV数など）に対する広告効果をデイリーでチェックが可能、さらには効果最大化を実現するために、キャンペーン内での最適クリエイティブの導出や素材割り付けの最適化など、広告枠の運用も行います。

博報堂DYメディアパートナーズは、これからも、テレビ・デジタルの統合運用を可能にするさまざまなサービスを順次導入し、博報堂DYグループの各広告事業会社とともに広告主の事業目標の達成に貢献いたします。

（※1） 広告業界で長らく続いてきた「広告枠の取引」によるビジネス（いわゆる「予約型」）から「広告効果の最大化」によるビジネス（いわゆる「運用型」）への転換を見据えた、博報堂DYメディアパートナーズが提唱する広告メディアビジネスのデジタルトランスフォーメーションを果たす次世代型モデル＜商標登録出願中＞

### 本件に関するお問い合わせ

#### ■株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室 山崎 TEL:03-6441-9347 E-mail:[mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp](mailto:mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp)

コーポレートサイト URL:<https://www.hakuhodody-media.co.jp/>